

2022年8月18日（木）世界の医療団 オンラインイベント開催のご案内



「ロヒンギャ難民危機から5年

－世界の医療団の活動を振り返る－

ミャンマー西部ラカイン州に暮らす少数派のイスラム教徒であるロヒンギャ。2017年8月25日以降、彼らが迫害を逃れて隣国バングラデシュに一齐避難し、“世界最大の難民危機”とまで呼ばれたときからもうすぐ5年が経ちます。

危機発生直後の2017年9月から難民キャンプで支援を続ける世界の医療団（特定非営利活動法人メドゥサン・デュ・モンド ジャパン）は、これまでの活動を振り返るオンラインイベントを開催します。本イベントでは、ロヒンギャを取り巻く難民問題について解説し、世界の医療団による活動の歩みをロヒンギャの声を交えながら報告します。

避難した70万を超えるロヒンギャの多くはいまだバングラデシュのコックスバザール近郊の難民キャンプにとどまり、その生活は長期化しています。就労や教育の機会を奪われ、移動の自由すら制限される人々。私たち世界の医療団は、そのようなロヒンギャの人々を医療保健につなげる活動をしています。また、難民キャンプ内だけでなく、難民を受け入れている周辺コミュニティ（ホストコミュニティ）も支援しています。そして、当事者である人々をボランティアとして育成し、彼らと協働しながら、改善に向けて取り組んでいます。

あるロヒンギャ難民の青年は言います。

「国際社会のみなさん、私たちロヒンギャコミュニティの声を聞いてください。キャンプを見て、状況を見てください。私たちがこの狭いスペースで、どのようにして暮らしているのか。コロナ禍にあっていかにここでの生活が厳しいものか、難民キャンプの仮の住居で、密な居住空間で、私たちロヒンギャが難民としてどう一日一日を生き延びているのか、国際社会に伝えてください。一日も早く母国への帰還が実現するように」

ロヒンギャ自身の声、現場からの報告をぜひお聞きください。このイベントが、今、同じ時代に生きるロヒンギャ難民に思いを馳せるきっかけになることを願っています。

【開催概要】

日時：2022年8月18日（木）19時00分-20時20分

参加費：無料

ツール：Zoom

お申込：こちらよりご登録ください <https://www.mdm.or.jp/news/24688/>

主催：認定NPO法人 世界の医療団（特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド ジャパン）

【プログラム（予定）】

*プログラム/ スピーカーは変更になる可能性がございます。予めご了承ください

19:00-19:05 開会

19:05-19:20 ロヒンギヤを取り巻く情勢について/ロヒンギヤの声
プロジェクト・コーディネーター 中嶋 秀昭

19:20-19:40 世界の医療団の活動について
メディカル・コーディネーター/看護師 木田 晶子

19:40-20:10 ロヒンギヤ難民についてのインタビュー、質疑応答

20:10-20:20 わたしたちにできることについて、閉会

【登壇者プロフィール】

中嶋 秀昭／世界の医療団 日本 プロジェクト・コーディネーター
新聞記者等を経て、NGO 職員・JICA 専門家として内戦下のネパール、
スリランカ北部、インドネシア（アチェ）、リベリア、南スーダン、パ
キスタン等に駐在、主に（母子）保健関連の支援事業を監理。2020
年、世界の医療団日本に入職。



木田 晶子／世界の医療団 日本 メディカル・コーディネーター/看護師
看護師として6年間の臨床経験を経て、青年海外協力隊員としてラオス
に派遣。その後、世界の医療団のラオス母子保健プロジェクトに約2年
間従事。2017年からはロヒンギヤのための医療支援プロジェクトに参
加。現在までメディカル・コーディネーターとして医療支援活動を展開
している。



世界の医療団は、世界74ヶ国で330の活動と17のネットワークを持つ国際NGOです。
1980年の団体発足以来、これまでも自然災害や紛争地域において、人道危機発生時の緊急
支援から、その後の長期的な復興支援まで、現地のニーズに即した活動を続けてきまし
た。

■お問い合わせ先■

特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド・ジャポン（認定NPO法人）

広報/証言活動担当 伊藤

TEL: 03-3585-6436 Email: communications@mdm.or.jp